

徳島県観光振興基本計画（第3期）見直し 素案のポイント

資料 1

令和元年8月に策定した「徳島県観光振興基本計画（第3期）」について、コロナ禍により観光が激変している状況を踏まえ、アフターコロナ時代を見据えた見直しを行い、本県の観光振興の新たな羅針盤としてリスタートする。

- 重点施策及び基本施策において、感染予防や新しい旅行スタイルなどアフターコロナ等に対応した「新たな視点」を盛り込む
- 数値目標について、コロナ禍での影響や新たな施策展開を踏まえて、「延べ宿泊者数」などの目標値を改める

アフターコロナ等に対応した 新たな視点

(本文P13 新旧P12)

- 安全安心な観光地づくり**
 - ・コロナ感染拡大防止条例等に基づく感染予防対策の徹底
- DX(デジタルトランスフォーメーション)を活用した誘客の推進**
 - ・オンラインツアーやVRコンテンツ等の推進
- SNSによる徳島の魅力発信**
 - ・官民一体となり、SNSでの「徳島県」を想起する統一的なハッシュタグを付けていくことにより認知度の向上を図る
- 新しい旅行スタイルに対応した滞在型観光の促進**
 - ・ワーケーションやプレジャー等の推進
- ニューノーマルに対応した観光人材の育成**
 - ・とくしま観光アカデミーの開講により、新しい旅行者ニーズに対応した人材を育成

重点施策

観光のリスタートに向けた
主な取組

1. インバウンド回復施策

(現行：インバウンド拡大施策) (本文P19 新旧P19)

- ・現地旅行会社とのオンライン商談会の実施
- ・外国人インフルエンサー、多言語SNS等を活用した魅力発信
- ・ウェブセミナーなどオンラインの積極的活用
- ・Wi-Fi環境等の整備

3. 滞在型観光推進施策

(本文P23 新旧P23)

- ・光ブロードバンド環境など徳島の強みを活かした「ワーケーション」や「プレジャー」の推進
- ・「アドベンチャーツーリズム」等の推進
- ・長期滞在型の客室の整備促進

2. 国内誘客強化施策

(現行：国内誘客施策) (本文P22 新旧P22)

- ・SNSハッシュタグによる徳島の認知度の向上
- ・オンラインツアーやVRコンテンツの充実
- ・四国DC(ディスティネーションキャンペーン)による誘客促進
- ・J1リーグ復帰を契機とした誘客促進

4. MICE再始動施策

(現行：MICE誘致施策) (本文P25 新旧P24)

- ・増加が期待される「リアルとオンラインのハイブリッド」会議の誘致促進
- ・小規模のコンベンションの誘致促進

基本施策 (重点施策の推進に向けた共通した取組)

- 観光マーケティングの強化** (本文P26 新旧P25)
- 安全安心な受入環境の推進** (追加)
 - ・コロナ感染拡大防止条例等に基づく観光関連施設などでの感染予防対策の徹底
- 観光誘客基盤の強化** (本文P27 新旧P26)
- 観光人材の育成・強化** (本文P28 新旧P27)
 - ・とくしま観光アカデミー
 - ・ニューノーマルな旅行スタイルなどの対応した人材育成
 - ・将来の観光人材の育成
 - ・観光事業従事者のリカレント教育
 - ・アクティブシニア等のスキルアップ教育
- 観光コンテンツの充実** (本文P29 新旧P28)
- 情報発信力の強化** (本文P31 新旧P30)
- 広域観光の推進** (本文P33 新旧P31)

数値目標の見直し【令和3年度及び令和4年度の目標値】

「延べ宿泊者数」「外国人延べ宿泊者数」などについて、令和3年下半年(7月～)の感染収束を想定し目標値を見直す

- ・延べ宿泊者数：令和3年7月ごろから段階的(R1比60% → 70~100%)に回復 ⇒ 令和4年1月頃に令和元年並に回復
- ・外国人延べ宿泊者数：令和3年7月頃からは外国人旅行者が段階的(R1比2.5% → 10~20%)に回復

新たな数値目標の設定

- ・感染拡大予防ガイドライン実践店ステッカー掲載宿泊施設数
- ・ハッシュタグ投稿数
- ・ワーケーションツアー参加企業数